

リン酸カルシウム骨ペースト

BIOPEX[®]-R
MVP Mini-open
Vertebral
Plasty system

臨床ケースレポート

バイオペックス-Rエクセレントを用いた椎体形成術

東大和病院 整形外科 山岸賢一郎先生



症例 1

1 椎体の骨粗鬆症性椎体骨折 における椎体形成術

90 歳代男性／ L1 椎体骨折

経過

脚立から転落して受傷。腰痛で動けなくなり、受傷後 2 日に救急搬送。L1 椎体骨折を認め、椎体内 Cleft があり、頭側終板の Gap も認めた。90 歳代と超高齢で痛みも強く体動困難で、保存的治療では椎体圧壊の進行と ADL 低下が

危惧されたため超早期に椎体形成術を行うこととした。終板損傷があり、充填材料の漏出が危惧されバイオベックス -R エクセレントを用いて行った。術後2日のCTで漏出は無く十分量充填されたことを確認した。腰痛は術後早期から著明に緩和した。術後1週5日において杖歩行で自宅退院した。

椎体形成術

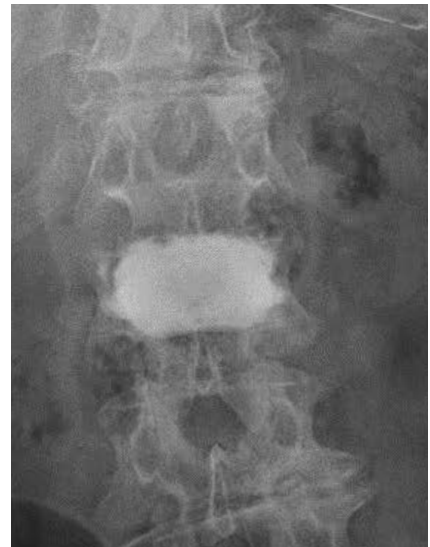
股関節を伸展させた腹臥位で行った。両側椎弓根外縁上に小皮切を置き、経椎弓根的に椎体内の搔爬、フラッシングを行い、大きな Cavity を作成した。造影剤を注入して、椎間板腔、脊柱管内に漏出がないことを確認。バイオベックス -R エクセレントを専用のガンを用いて充填、進入反対側の椎弓根からペーストがあふれたことを確認して引き抜いた。手術時間は55分、出血少量であった。



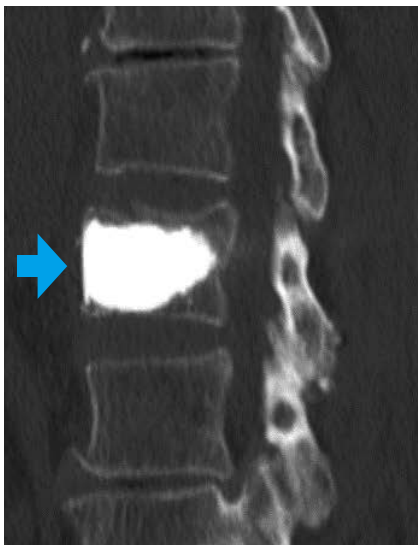
術前CT (矢状面)



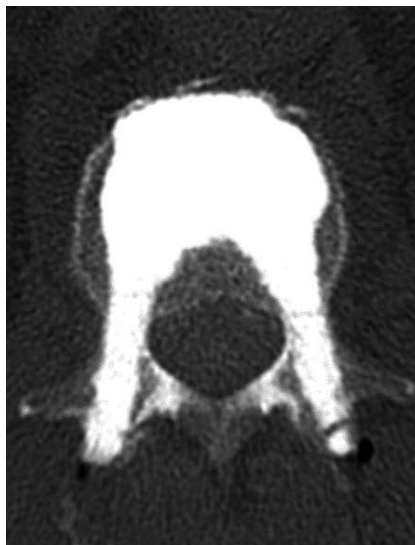
術後レントゲン (側面)



術後レントゲン (正面)



術後CT (矢状面)



術後CT (L1 横断面)

症例 2

複数椎体の骨粗鬆症性椎体骨折 における椎体形成術

70 歳代男性／ T12,L1,L2 椎体骨折

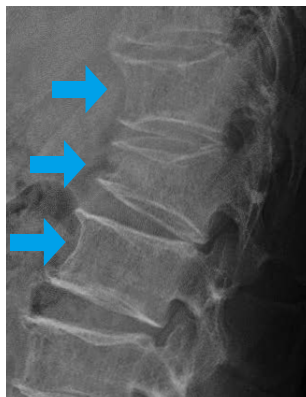
経過

自転車で段差を超える際にバランスを崩して転倒した。
腰痛で動けず救急搬送された。T12,L1,L2 椎体骨折を認め、
いずれも MRI での輝度変化が大きく早期手術を提案した。
受傷 2 週で 3 椎体に椎体形成術を行った。術後早期に疼痛

は軽快し、術後 1 週 3 日で自宅退院された。術後 1 年時椎体の矯正損失は認めていない。

椎体形成術

BKP は外傷においては 1 椎体に限られるので、L1 に BKP、T12,L2 にはバイオペックス-R エクセレントを用いた椎体形成術を行った。手術時間は 1 時間 43 分、出血少量であった。



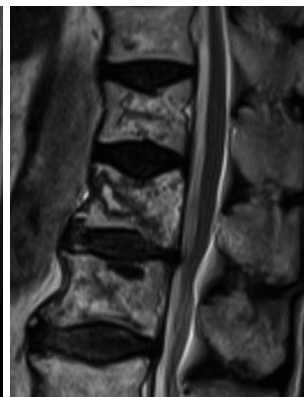
術前レントゲン（立位）



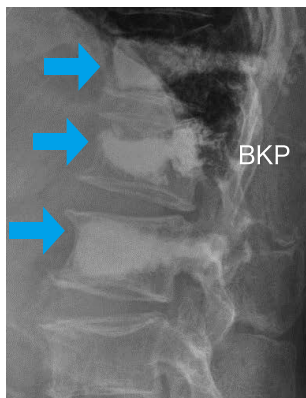
術前レントゲン（仰臥位）



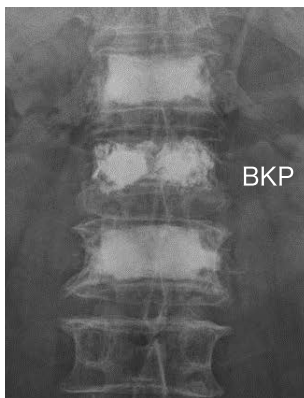
術前MRI（T1）



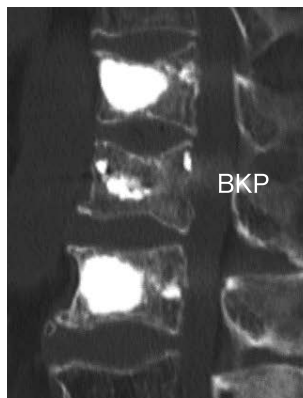
術前MRI（T2）



術直後レントゲン
（臥位側面）



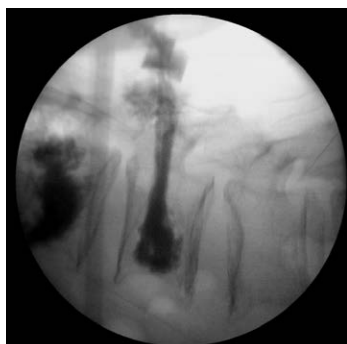
術直後レントゲン
（臥位正面）



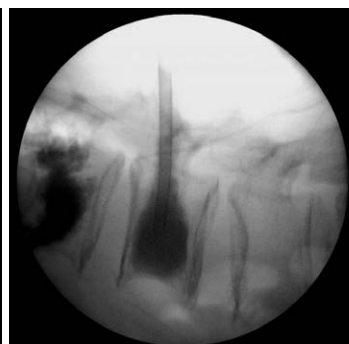
術後CT（矢状面）



術後3ヶ月レントゲン
（臥位側面）



造影剤



バイオペックス

販売名：バイオペックス-R 医療機器承認番号：21300BZZ00274000
医療用品 4. 整形用品 高度管理医療機器(クラスⅢ)
人工骨インプラント(リン酸カルシウム骨ペースト)
※添付文書をよく読んでから使用してください。

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社 www.hoyatechnosurgical.co.jp

■本 社	〒160-0004	東京都新宿区四谷4-28-4	TEL:03-5369-1710	FAX:03-5369-1711
■札幌営業所	〒060-0007	札幌市中央区北七条西13-9-1	TEL:011-241-3473	FAX:011-241-3472
■仙台営業所	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1-7-1	TEL:022-371-6944	FAX:022-371-8924
■名古屋営業所	〒461-0001	名古屋市東区泉1-21-27	TEL:052-955-8572	FAX:052-955-8573
■大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場1-17-9	TEL:06-6263-1679	FAX:06-6263-1686
■福岡営業所	〒810-0802	福岡市博多区中洲中島町3-8	TEL:092-281-6860	FAX:092-281-6869

